

# JBSF第14回ビーチスポーツ活動指導者講習会カリキュラム表(2026年2月22日～23日/大分)

団体名	一般財団法人日本ビーチサッカー連盟		活動名	2025年度ビーチスポーツ活動指導者講習会(2日間)	
対象者		地域のビーチスポーツ指導者, 大会、リーグ等運営者, スポーツ推進委員, 総合型地域スポーツクラブ指導者, スポーツ・体育協会指導者、レクリエーション協会指導者及び運動部活動外部指導者等			
項目	時間数	題名	講師名	ねらい	内容
講義① 野口ふれあい交流センター 【研修室】 (2/22)	14時00分 (1.0h)	オープニング・青少年教育の理解、各種ビーチスポーツ競技の理解	(一財)日本ビーチサッカー連盟 ウェルフェアオフィサー	青少年の現状と課題、ビーチスポーツの現状と課題を理解する。	各種資料等により、日本における人口推移の現状、青少年動態の現状、ビーチサッカーをはじめとするビーチスポーツ全体の現状を確認し、課題を把握する。
講義② 野口ふれあい交流センター 【研修室】 (2/22)	15時00分 (1.0h)	地域とともにあるスポーツ指導、地域イベントとの協働について(事例報告)	地域青少年スポーツ活動指導者 2人	地域財産である因島しまなみビーチを活用したビーチスポーツが与える好影響について理解する。	ビーチ活動やビーチ指導を行ううえで心掛けておくべきこと、地域と協働したイベント事例や各種指導事例等の重要点を学ぶ。
講義③ 野口ふれあい交流センター 【研修室】 (2/22)	16時00分 (1.0h)	体験活動の基礎技術指導法の理解(座学基本) 競技講義/ビーチサッカー	トップスポーツ競技団体 AFCビーチサッカーコーチング コース修了者 2人	過去の大会やフェスティバルの映像を活用し講師による体験活動指導実践によりビーチ指導基礎技術を学ぶ。	実際に、各参加者において、講師よりビーチサッカーに必要な基礎的技術指導を受け、基礎技術習得に必要な知識等を学ぶ。
演習① 田ノ浦ビーチ 【ビーチ】 (2/23)	9時00分 (1.0h)	競技用具及び大会活動前の準備(理解)(実践)	地域青少年スポーツ活動指導者 2人	ビーチサッカーに必要な用具、大会前準備を講師の指導に基づき実践し、自ら学ぶ。	ビーチ体験活動前の準備として必要な事項、用具の確認を行い、実際のビーチ大会運営を鑑みながら学ぶ。
演習② 田ノ浦ビーチ 【ビーチ】 (2/23)	10時00分 (1.5h) 終了後 昼食休憩	体験活動の基礎技術指導法(基本)の理解、競技演習/ビーチサッカー	トップスポーツ競技団体 ビーチサッカー日本代表経験者等 2人	ビーチサッカーの競技特性、現状、必要な用具、基本的指導法等を理解する。	ビーチ体験活動時の指導等として必要な基礎基本的事項について、教育的効果を踏まえて学ぶ。
演習③ 田ノ浦ビーチ 【ビーチ】 (2/23)	12時30分 (1.0h)	体験活動の基礎技術指導法(指導実践)、競技演習/ビーチサッカー	トップスポーツ競技団体 ビーチサッカー日本代表経験者等 2人	教室実施後の効果等を意識した演習実践の在り方、企画立案方法を学ぶ。	ビーチスポーツ競技の指導普及をはじめ、多様性のある青少年への対応法、青少年健全育成、SGD'Sの観点から社会価値創造等を意識した指導プログラムの組み立てを理解する。
演習④ 田ノ浦ビーチ 【ビーチ】 (2/23)	13時30分 (1.5h)	体験活動の基礎技術指導法(技術)の理解、競技演習/ビーチサッカー	トップスポーツ競技団体 ビーチサッカー日本代表経験者等 2人	ビーチ体験活動の基礎指導法に触れ、意義や教育的効果及び活用可能な事例について学ぶ。	ビーチ体験活動時の指導等として必要な専門的技術や実践について、教育的効果を踏まえて学ぶ。
講義⑤ 田ノ浦ビーチ 【ビーチ】 (2/23)	15時00分 (0.5h)	ウェルフェア、リスペクト、自然環境スポーツの理解～全体質疑応答～ビーチクリーン、片付け	(一財)日本ビーチサッカー連盟 ウェルフェアオフィサー	体験活動における相互扶助、リスペクトの大切さ、SDG'S「14海の豊かさを守ろう」の視点を踏まえ教育的見地からの意義を理解する。	ビーチ活動時の基本的な安全管理、危機管理、ウェルフェア・リスペクトプログラム、SDG'Sの活動目標を確認する。
合計 時間数:	8.5時間				